

第4回 雲の数え方



超太 (ちょうだい)

自然が大好きな 27 歳。なかなか彼女ができず、悩んでいる。今年の目標は、彼女を作ること。



ミスターK

自称空前の色男であるという、木の妖精。長年の知識と経験で多くの非モテ男たちを救ってきたという。

前回までのあらすじ

あなたの恋をとことん応援する環境教育スキル講座。彼女できない系男子代表・超太の前に突如現れた木の妖精・ミスターK。前回のBBQデートでは、肥後守を使って手作り竹箒を即興で作り、彼女の心を取り戻すことに成功。今回のデートも成功させて、彼女との距離を縮めることが果たしてできるのか!?

もう秋か。クリスマスまでもう少しだぞ。今年中に彼女を作ることができかなあ。

心配ないさー。私を信じなさい。

あつ、ミスターK! 今度、六本木デートすることになったんだ。彼女との距離を縮める環境教育スキル、何か持っていない? あともうひと押し、このころまでできているんだよ。

そうか、今回はいつもと違って都会でのデートか。しかし、超太の財力を考えると…。これは困ったぞ。

おい、ミスターK! このままで一生彼女ができないよ。どうしてくれるんだよ。

ピカーン。雲はどうじゃ。六本木でも雲は見つけることができる。

超太、雲の数え方は知ってるか?

えっ、雲の? 1つ、2つとかじゃないの?

それも正しい。じゃが、実は形状によっても数え方が違うんだよ。例えば、飛行機雲のように細長い雲は一本(いっぽん)とも数えることができる。では、入道雲はどう数えるか知ってるか?

うーん…。

一座(いちざ)じゃ。これは、雲を山に見立てているからじゃ。

なるほど! これは第1回の「隙間時間の使い方」にも通じるころがあるね。買い物と夕食の間に使わせてもらうよ。ありがと、ミスターK。

【そして、運命の六本木デートに】

今日は快晴だ。雨男の鴨川さんが付いてこなくてよかった。あとはミスターKに教えてもらった「雲の数え方」をさりげなく伝えるだけ。大

切なのはタイミングだ…。

よし、今だ。(六本木ヒルズのスカイデッキから望む夕やけを背景に、彼女にささやくように語りかける超太。その後、2人は東京の空に浮かぶ無数の雲をじっと見つめ続けるのであった)

【その日の夜】

ニヤニヤしているな、今回も大成功か!?

雲のおかげで2人の心が通じ合ったみたいだったよ。いろんな形や大きさの雲があるから、ずっと見ている飽きないし、あつという間に時間が過ぎていったよ。

それは良かった。連載も残り2回で終了じゃ。そろそろラストスパートかけるぞ、超太!

ハイ、喜んで!

● 雲の数え方

| | |
|---------------|--------------------------------------|
| 青い空に浮かぶ雲 | 一つ (ひとつ) 一片 (いっぺん・ひとひら) |
| 飛行機雲 | 一本 (いっぽん) 一筋 (ひとすじ) 一条 (いちじょう) |
| 入道雲 | 一座 (いちざ) |
| 快晴の空にわずかに浮かぶ雲 | 一抹 (いちまつ) 一点 (いってん) |

ファンレター送付先

超太へのファンレター、プレゼントは下記までお願いします。
〒116-0013 東京都荒川区西日暮里 5-38-5 日能研ビル1階
(公社) 日本環境教育フォーラム
加藤超太ファンレター係

